

2B02

孤立気相中における 7-アザインドール二量体の 励起状態ダブルプロトン移動に対する置換基効果

(九大院理¹, 九大先導研²) ○河本 裕介¹, Zhang Xuan¹, 迫田 憲治¹,
原 眠彦¹, 新名主 輝男², 関谷 博¹

【序論】7-アザインドール二量体(7AI_2)は分子内二重水素結合を有しており, 光励起によって励起状態ダブルプロトン移動(ESDPT)反応が生じる。 7AI_2 におけるESDPTは水素結合ネットワークにおける多重プロトン移動反応の最も簡単なモデルとして注目されている。これまでESDPTの反応機構を解明するために様々な研究が行われ, プロトン移動反応の多次元性や反応速度に対する同位体効果などが調査されている。しかしながら, 孤立気相中において置換基の導入がESDPTに及ぼす効果について調査された例は報告されていない。本研究では 7AI_2 のESDPTが置換基の導入によってどのような影響を受けるか調査するため, 7AI_2 置換体である 3-メチル-7-アザインドール二量体(3MAI₂), 4-ジメチルアミノ-7-アザインドール二量体(4DMAAI₂)および 4-クロロ-7-アザインドール二量体(4CAI₂)について調査を行い, 7AI_2 のESDPTに対する置換基効果について検討した。

【実験】3MAI, 4DMAAIおよび 4CAIは合成によって得た。試料をノズルハウジング内で加熱して気化させてパルスノズルから噴出し, 超音速ジェット冷却した 3MAI_2-hh , 4DMAAI_2-hh および 4CAI_2-hh を生成させ, S_1 - S_0 領域の蛍光励起(FE)スペクトルを測定した。さらにノズルハウジング内に重水を加えて 1 個のNH基の水素原子を重水素置換したhd体, および 2 個のNH基の水素原子を重水素置換したdd体を生成させ, これらの二量体のFEスペクトルを測定した。

【結果と考察】図 1 は 3MAI_2-hh のFEスペクトルである。分子間変角振動(β_1, β_2), 分子間伸縮振動(σ)およびそれらの倍音, 結合音からなる振電構造が観測された。 3MAI_2-hh のFEスペクトルの振電構造および振電バンドの幅は 7AI_2-hh と極めて類似している。また, 3MAI_2-hd および 3MAI_2-dd の振電バンドの幅は, 対応する 3MAI_2-hh の振電バンドよりも明らかに狭い。このような顕著な重水素置換効果から, 3MAI_2 のESDPTが 7AI_2 と同様にトンネル機構によって生じることが示された。 7AI の 3 位へのメチル置換は, ESDPTにほとんど影響を与えない。

図 2, 3 に示した 4DMAAI_2-hh , 4CAI_2-hh のFEスペクトルには, β_1, β_2, σ の基音およびそれらの振動の倍音, 結合音からなる振電構造が観測されている。 4DMAAI_2-hh , 4CAI_2-hh の振電バンドの幅は対応する 7AI_2 の振電バンドの幅と比較して著しく狭い。このことは, ジメチルアミノ置換および塩素置換によってESDPT速度が減少していることを明瞭に示している。特に, 4DMAAI_2-hh と

7Al_2-hh の 1σ のバンド幅の比較から、ジメチルアミノ置換によってESDPT速度が、約 10 分の 1 に減少することが示唆された。4DMAAIモノマーに対する 4DMAAI_2-hh の S_1 - S_0 オリジンのレッドシフトは、 7Al モノマーに対する 7Al_2-hh のレッドシフトと比べて 1192 cm^{-1} ほど小さい。DFT 計算から得られた S_0 状態の 4DMAAI_2-hh の結合エネルギーが 7Al_2-hh ほとんど変わらないことから、 S_1 状態における結合エネルギーは、 4DMAAI_2-hh の方が 7Al_2-hh より小さいと考えられる。したがって、 4DMAAI_2 では、ジメチルアミノ基の電子的な効果によって S_1 状態の分子間水素結合が弱められた結果、ESDPT 座標に沿ったポテンシャル障壁が高くなり、ESDPT 速度が減少すると考えられる。DFT 計算による S_0 状態の 4CAI_2-hh の結合エネルギーと 7Al_2-hh の結合エネルギーに大きな差はみられない。 4CAI モノマーの FE スペクトルが観測されないために、 4CAI_2-hh の S_1 状態の結合エネルギーについての情報は得られなかった。ESDPTにおいて、分子間伸縮振動 (σ) が ESDPT を促進させるために最も重要なモードであることが知られている。そこで、 4CAI_2-hh と 7Al_2-hh の σ モードを比較したところ、 4CAI_2-hh と 7Al_2-hh の σ モードには分子間水素結合方向の変位に違いがみられる（図 4）。 σ モードの変化は、塩素置換による質量効果によると考えられ、ESDPT 速度が減少する原因の一つと推測される。

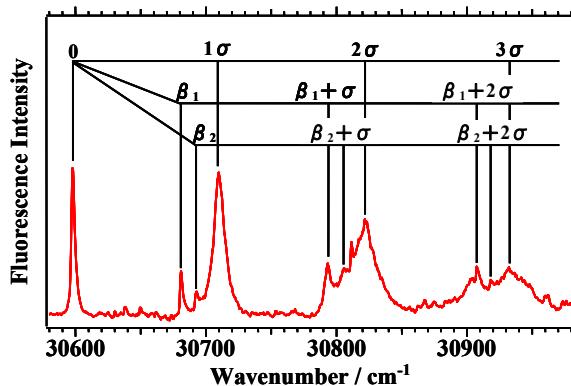


図 1. 3MAI_2-hh の FE スペクトル

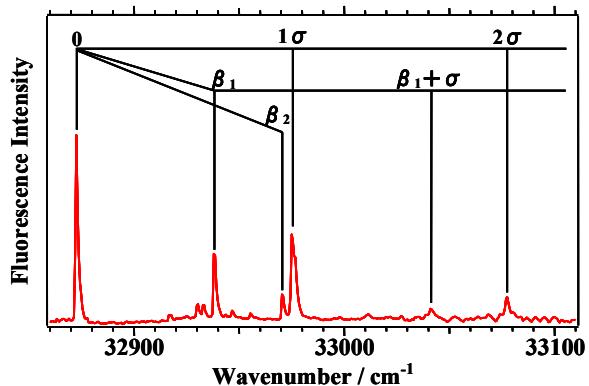


図 2. 4DMAAI_2-hh の FE スペクトル

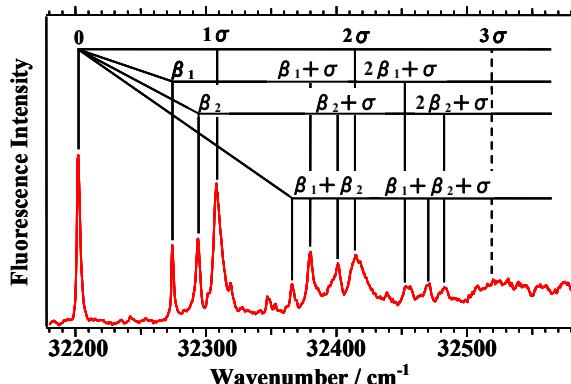


図 3. 4CAI_2-hh の FE スペクトル

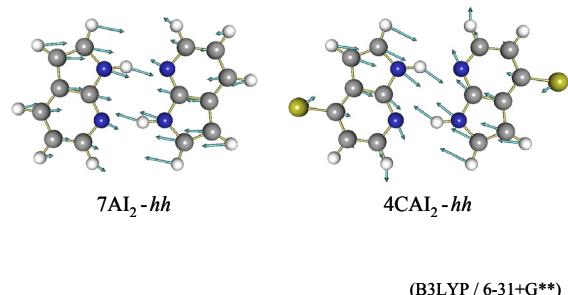


図 4. 分子間伸縮振動 σ